



校報松風

校内書き初め大会～一筆一筆に心を込めて取り組みました～

1月17日(火)の2校時、全校放送で「春の海(箏と尺八の曲)」を流し、厳かな雰囲気の中で校内書き初め大会を行いました。1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆に取り組みました。毛筆の課題は、3年生「友だち」、4年生「明るい心」、5年生「新しい風」、6年生「将来の夢」です。

田口研究主任が書き初めの意味や由来を放送で説明し、一年の幸福をもたらす歳徳神(とくとくじん)がおられる方角(恵方)を向いて文字を書いたり、恵方巻きを丸かじりすると縁起がよいと教えてくれました。そして、子どもたちは、今年の恵方「南南東」を向き、一筆一筆に心を込めて取り組みました。



【真剣に筆を走らせる6年生】

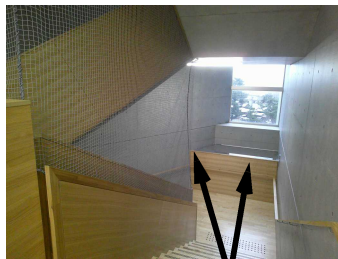
新校舎転落防止対策工事完了～安全な学校生活のために～

新校舎での生活も2か月以上経過しました。子どもたちは、約束を守って安全に生活しています。この度、万が一の転落事故に備え、対策工事を行っていただきました。

工事を行ったのは、中央階段の吹き抜け部分へのネットの設置と各教室の窓への手すりの取り付けです。通常の生活では危険はないのですが、遊んだり、ふざけたりして転落事故が起きては取り返しが付かないということで、工事をお願いしました。

工事完了までの間は、子どもが中央階段を通るのは大人と一緒にのみとし、2階以上の教室の窓にはストッパーを付けて窓が全開にならないようにしていました。

工事後は、海側の教室の子どもたちは中央階段を歩いて教室を行き来できるようになりましたが、ネットには触らない約束にしています。教室の窓はストッパーでの開放制限を引き続き行い、手すりとの併用で転落防止対策に万全を期したいと考えています。



【中央階段のネット】



【手すり・ストッパー】

書き損じはがき抛出運動へのご協力をお願い

12月配付のおたよりでもお願いしておりますが、今年度も「書き損じはがき」の抛出運動を秋田県PTA連合会の事業として実施しております。県内各郡市PTA連合会の財政基盤の強化を図り、諸活動を通して子どもたちへの還元を考えて実施するものです。つきましては、趣旨をご理解いただきご協力とご支援をくださいますよう、お願いいたします。

- 1 収集するはがき ①書き損じはがき(年賀はがき・普通のはがき) ②古い未使用のはがき
- 2 収集の対象外はがき(換金できないはがき)
①私製はがき②一度配達された年賀はがき③「宛先不明」で戻されたはがき
- 3 抛出されたはがきに記載されている個人情報、一切使用いたしません。
(個人情報部分を消して抛出されても構いません)
- 4 直接またはお子さんを通して学校にお届けください。
- 5 収集期間は、令和5年1月31日(火)までとしています。

4月に行われた全国学力・学習状況調査の本市と本校の結果をお知らせします。

令和4年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和4年4月19日（火）に実施されました。

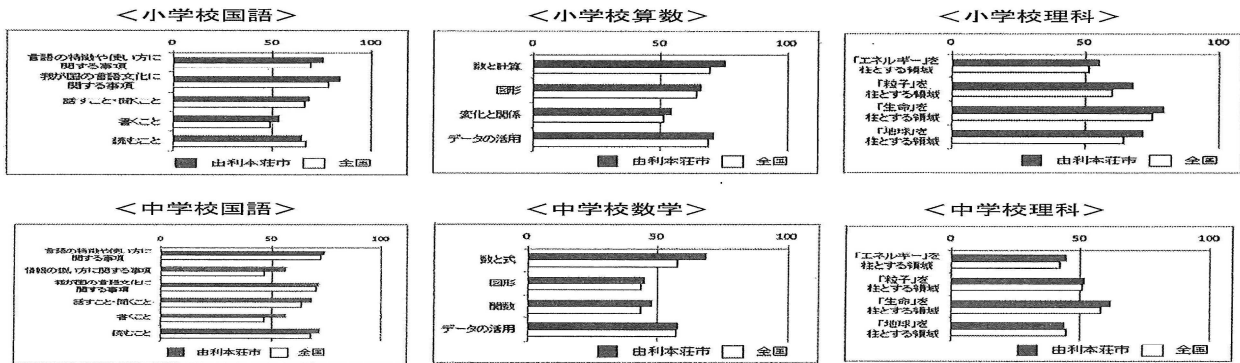
2 調査の内容

調査内容は、国語、算数・数学に加え、今年度は理科も実施され、3教科の調査となりました。学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査は、昨年度より小学校、中学校とも同一の質問数、質問事項となりましたが、今年度はICT機器等についての質問事項が増え、活用場面毎のICT機器等に関する学校質問紙調査も実施されました。

3 秋田県と全国の比較（今年度も、県の平均正答率は整数値で発表されています）

＜小学6年 平均正答率（％）＞				＜中学3年 平均正答率（％）＞			
	国語	算数	理科		国語	数学	理科
秋田県	71	66	71	秋田県	73	54	52
全国	65.6	63.2	63.3	全国	69.0	51.4	49.3

4 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）



質問紙調査からは、「学習した内容について、分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」と回答している割合が高く、授業や家庭学習で振り返りが行われている様子がうかがえます。その一方で、小中とも放課後や週末に家でテレビや動画を視聴したり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている割合が高く、家庭での過ごし方を見直す機会を設定する必要があると思われます。

新山小学校（6年生）全国学力・学習状況調査結果

1 正答率

	国語	算数	理科
新山小	66	62	64
秋田県	71	66	71
全国	65.6	63.2	63.3

今年度4月の調査結果です。3教科とも全国平均とほぼ同じで、県平均を下回る結果となっています。

国語の知識・技能では、漢字を書くことが概ね良好であり、定着が図られています。「話すこと・聞くこと」「書くこと」では県平均より6～10%低いので、日々の授業で理由や根拠を明らかにしたり、全体や部分の関係を考えたりする学習に力を入れています。

2 学習指導要領の内容別結果（国語）

	言葉の特徴や使い方	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
新山小	74.5	65.8	44.2	62.3
秋田県	75.9	71.5	53.9	69.4
全国	69.0	66.2	48.5	66.6

算数では、目的に応じたデータの活用力が定着していることが分かりました。図形の問題では、プログラミングで正多角形の描き方を問う問題が出されましたが、正答率が県平均より約7%低かったです。図形を構成する要素に着目してプログラムする学習の復習をしました。

3 学習指導要領の領域別結果（算数）

	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
新山小	69.7	58.3	50.4	71.4
秋田県	75.0	65.7	54.2	70.1
全国	69.8	64.0	51.3	68.7

理科「粒子」の領域の水の体積を測るときの実験器具の名称（メシリンダー）や正しい扱い方の問題では、県平均を上回るかほぼ同程度の正答率となっており、実験器具の扱い方が定着していることが分かりました。しかし、複数の情報を分析して解釈する力は不十分であることが分かったので、日々の授業の中で実験や観察の結果を他者の考えも取り入れて分析したり、新たな問いをつくったりする学習活動に力を入れています。

4 学習指導要領の領域別結果（理科）

	エネルギー	粒子	生命	地球
新山小	51.3	65.0	73.8	65.5
秋田県	57.9	69.2	81.8	73.4
全国	51.6	60.4	75.0	64.6

質問紙では、「朝食を毎日食べる95.7%」「毎日同じくらいの時刻に寝る86.6%」と、県平均を上回っており、基本的な生活習慣がある程度定着していることが分かりました。ただし、ゲームの時間やSNS、動画視聴時間は全国平均を上回っているため、機会を捉えた指導を継続しています。ご家庭での声掛けもお願いします。

今年度12月に行われた県学習状況調査では、本校6年生は全教科で県平均を上回る好成績を収めています。詳しい結果は、後ほどお知らせします。